

一般質問(1)

一般質問の要旨

今定例会では、32人の議員が市政に関する一般質問を行いました。ここでは、その主な内容についてお知らせします。なお、内容については、各質問議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

凡例

- 西東京市議会公明党 (公明)
日本共産党西東京市議団 (共産)
自由民主党西東京市議団 (自民西)
自由民主党 (自民)
民主党政西東京 (民主)
生活者ネットワーク(生ネ)
市民クラブ (市ク)
無所属 (無所属)

多文化共生で地域から平和を
市民参加条例は市民と検証を

渡辺 嘉津子(生ネ)

市民参加の拡充を

市民公募へ参加しやすい手法を考えよ。作文選考だけでなく抽選も行え。

審議会委員募集等は年度当初に公募予定等の周知するなど工夫したい。

「市民参加条例」の検証は、市民参加の検証機関を設置して行え。

今後の検討課題。パブリックコメント

の対象枠を、計画・条例だけでなく、市民に関係深い要綱や使用料・手数料などに拡大せよ。

多文化共生のまちづくり

総務省の「多文化共生推進プログラム」をどう受けとめているか。災害情報、避難所、避難方法、防災無線の多言語化などの対応は、定住外国人の市政参加の考えは。

市長の強い意志で
緑を残す手だてを！

森下 典子(生ネ)

地球温暖化防止対策

太陽光、風力、バイオマスなどの新エネルギー導入に向けた計画を定めよ。

環境マネジメントシステムや地球温暖化対策実行計画の取り組み状況を踏まえ検討したい。

緑地の保全・確保

緑地保全地区の追加指定や市民緑地制度の活用に向け、所有者の意向を調査せよ。

建築行為の制限など所有者の理解を得る必要がある。今後調査研究する。

緑化基金を復活し、緑地の買い取りに充てよ。

合併後まちづくり整備基金に統一した。その運用で対応したい。

地区計画によるまちづくり

石播工場跡地は絶対高さ制限をすべきだった。隣接住宅地への配慮は。

周辺への影響をできるだけ少なくするよう定めたい。今後地元説明会を行う。

北町の都市計画道路沿線の用途地域の見直しは地区計画を定めて行つて。

緑地保全地域や生産緑地が多数あるため、放射7号線の進捗状況や地域住民の意見を参考に検討する。

東大農場と3・4・9号線 学校で取り組む光熱水費削減還元プログラム ISOによらない簡便な環境マネジメント手法へ転換を

多文化共生にかかわる部署の連携をとるため平成19年度「地域防災計画見直し」の中で検討。市民参加条例で柔軟に対応していく。

市民調査の対象に外国人登録者も入れよ。コミュニケーション

市長の基本的考えは可能性のある事業なので庁内職員の研修と支援についての研究を行いたい。

国民保護計画、地方債の協議制など

交通計画は、乗合タクシー、
ダイヤモンド型バスも視野に

保谷 七緒美(生ネ)

ひとり親家庭ヘルパー派遣事業について

使い勝手の悪い制度だ。改善が必要。

都事業として、区市統一的なサービスを提供している。利用者の要望等も含め、実施状況を毎年都に報告している。

障害者自立支援法と小規模作業所の今後について

小規模作業所は将来の不安を抱えている。小規模作業所が破綻しないよう支援が必要。

自立支援法は3年以内で制度を見直すことになっている。必要があれば、市長会等を通じて都や国に訴えていく。

交通計画と福祉の移送サービスについて

交通計画は、高齢化の進展と公共交通の規制緩和の流れの中で、乗合タクシーやダイヤモンド型バスも視野に入れた計画にすべき。

福祉の移送サービスをどうするかは、交通計画策定委員会で議論し、計画に反映させていきたい。

剪定枝資源化施設の設置について

ごみ資源化及びごみ減量推進協議会の提言を尊重し、剪定枝資源化施設を設置せよ。

庁内関係部署の連携を図る場を設定していく。

不正防止対策で
介護保険事業の適正化を図れ

中田 恵美子(公明)

介護保険が始まってから5年間に、介護保険事業者の架空水増し請求などにより、全国で313カ所が指定を取り消された。不正防止対策事業として、群馬県草津町で行っている、訪問介護記録をとるシステムを

導入すべきではないか。

実態を調査し、市の現状を踏まえて適正化に努力をしていく。

平成17年7月に食育基本法が施行され、今年4月には基本法の考えを具体化した食育基本計画がスタ

高齢者・障害者の交通計画を！
子どもに楽しい読書環境を！

小幡 勝己(公明)

17年度の繰越金は、11億円程度である。

みどり保育園民営化の検証と田無保育園等今後の民間委託に丁寧な対応を。

市全体で7園を計画している。保護者の理解を得ながら丁寧に対応する。

子どもの言語力向上のため、読書の推進や学校図書館の環境整備を図れ。

読書は、言語力の

基礎を築く上で重要。子どもたちの活字離れに歯どめとなるよう推進していく。

市が管理する高齢者アパート等の安心確保、安否確認の充実を図れ。

居住者間の連絡等さまざまな仕組みを検討する。

交通計画策定では、高齢者や障害者が安全に自由に移動できる計画にせよ。

市民も含めた策定委員

調布保谷線の沿道を桜並木に
人が集まる西東京市を目指せ！

岩越 篤子(公明)

団塊世代の地域活用・地域貢献の支援は行政の課題

市内に9千100人いる団塊の世代が2007年以

降地域に帰ってくる。そのパワーを生かすため、ニーズの把握にアンケート調査を実施すべきだ。見解は。

起業家支援・ポランテア活動・文化活動等全庁的な問題として検討していく。アンケート調査についても意見を踏まえて今後検討していく。

調布保谷線の進捗状況は

用地買収はどこまで進んでいるのか。今年度の工事予定箇所はどこか。

用地買収率は83%。18年度は石神井川の橋の下



中町6丁目付近(かえて通り)

トした。当市でも早急に推進計画を策定すべきと考えるが、所見を問う。

国や都と連携を図り、食育を推進していく。

当市の保育園入所選考基準指数には、兄弟を配慮するポイント加算がない。複数の子どもを持つ家庭で別々の保育園に預けている場合がある。入所選考基準について改善を図るべきと

考えるが、見解を問う。

今年度の子ども福祉審議会でも論議していただき、選考方法を模索していく。

西東京市に提出する文書のおて先表記は、「西東京市長様」になっている。「西東京市長あて」にすべきではないか。

今後ほかの団体等の例を参考に調査研究する。

員会を開催し、パブリックコメントも実施していく。

子ども家庭支援センターの子育て支援講座のさらなる充実を図れ。

相談業務など子育て支援の充実さらに努める。

プレリーダー養成事業の充実を図れ。

プレリーダーなど遊びの支援者の育成・活用に重要施策として取り組む。

東大農場の塀改修は、市民要望を踏まえ取り組み、必要に応じて、東大に改善等を求めていく。

部工事を予定している。

環境施設帯を桜並木にして、にぎわいのあるまちづくりを提案する。

豪雨時にはひざ上まであふれ、川のように流れる。一日も早い対策を。

19年度に自区内処理を基本に調査を行い、基本設計をしていく。

防犯ブザーの機能アップ

無償貸与から3年その間の機能的進歩は大変大きい。子どもの安全確保のためリニューアルせよ。

耐用年数に問題があると認識している。課題と受けとめ、方法について検討していく。